

平成26年度上期 新潟市景況調査【速報】

調査結果の総括

新潟市内事業所の「業況判断」について、平成26年4～6月期は前期（同1～3月期）から悪化したが、続く7～9月期は若干持ち直した。先行きについてみると、同10～12月期はゆるやかに回復する見通しだが、27年1～3月期は後退する見通しとなっている。

今期における他の主要項目のBSIをみると、「生産・売上」「受注」「出荷」は低下した。「在庫水準」は製・商品、原材料とも過剰超となった。「仕入価格」「販売価格」はともに上昇した。「資金繰り」は改善した。

経営上の問題については、「仕入価格の上昇」が最も多く、以下「人材不足」、「生産・受注・売上げ不振」と続いている。

1. 調査の概要	1
2. 回収結果	1
3. 調査結果	
(1) 業況判断	2
(2) 生産・売上, (3) 受注	3
(4) 出荷, (5) 資金繰り	4
(6) 在庫	5
(7) 価格	6
(8) 雇用	7
(9) 設備投資	8
(10) 経営上の問題	9

※注 文中において、「前期」「今期」「来期」については、特に説明がない限り、以下の時期である。

・ 前期 H25. 10～H26. 3月期 ・ 今期 H26. 4～H26. 9月期 ・ 来期 H26. 10～H27. 3月期